

えほんのおへや通信



2011年10月1日(土)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

やっと朝夕は肌寒くなってきました。あの暑さが嘘のようです。お彼岸が過ぎもう本格的な秋です。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」10月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「まっかだね」

山田ゆみ子 作

きんぎょさんのしっぽ、ざりがにさんのはさみ、にわとりさんのとさか……。最後に登場するのは赤とんぼ。小さな子どものまわりにいる生き物たちの「まっかだね」を、優しく丁寧に描きます。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「ちんころりん」

～高知の昔話～

中脇初枝 再話 / ささめやゆき 絵

おばあさんは川で金色に光るひつをひろいました。家に帰ってあけてみると、目がひとつ、口がふたつのおばけでした。おばけは「ちんころりん」ときれいな声でうたいながら、「下駄をはかせてほしい」、「鍬を持たせてほしい」と・・・。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「ゆらさん」

織茂恭子 作

ゆらさんは毎日、朝も昼も夜も、家の前に立ってあいさつをしています。犬を連れておじいさん、アルバイトのお兄ちゃん、幼稚園に行く子ども達、声をかけてもらって嬉しそう。ところがある日、…。



こどものとも

5～6歳向き

「やぎのアシヌーラ どこいった？」

渡辺鉄太 作 / 加藤チャコ 絵

スタマティスじいさんは、ものぐさで、庭の草刈りをしたくないので、ヤギを飼って食べてもらった。そこへ農夫が通りかかって、自分のところのやぶも食べてもらいたいという。スタマティスじいさんがヤギを農夫に貸してやると、……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「かめの ひなたぼっこ」

越智典子 文 / 金尾恵子 絵 / 小菅康弘 監修

公園の池の石のうえで、カメがひなたぼっこ。あたたかな光をあびながら、じっとしたまま動きません。そこへべつのカメもやってきました。がじがじがじと石をのぼって、もとからいたカメのこうらの上までのぼります。



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「ぐるぐるちゃん」

長江 青文・絵 / 菊地敦己構成

0歳から

子リスのぐるぐるちゃんは、秋の森でお母さんと一緒にどんぐりひろい。あーん、と口にどんぐりを入れてもらったぐるぐるちゃん。ほっぺにいっぱいほおぼって、うれしいな！



福音館書店

「まいごのどんぐり」

松成 真理子 作

3歳から

ぼくはどんぐり。コウくんのどんぐりです。コウくんのカバンの中は、どんぐりがいっぱい。ぼくは、コウくんがだいすきです。ところがある日…。



童心社

(年齢は目安です。)

【雑感】

赤ちゃんは周りの身近な人と笑顔を交わすことによって、「社会脳」が育つといわれています。社会脳というのは集団の中で人間が生き抜く社会性を身に付ける脳の発達、赤ちゃんの頃から、笑顔が本能的に身に付いてくるのをみても、社会生活でそれがどんなに大切なものかが分かります。人間が生きるための基本的な栄養素だといえましょう。幼い子に微笑みかけると、初めは警戒していても笑い返してくるということは、人との調和を図るための栄養素が蓄えられてきたとも考えられます。笑顔は人間最高の宝物です。

